

# 後援会だより



5月12日に行われた、開学10周年記念式典での合唱サークルによる校歌斉唱

## C O N T E N T S

- ごあいさつ ..... 2
- 開学10周年記念式典、継燈式 ..... 4
- 学外オリエンテーション、球技大会、上越まつり ..... 5
- 国家試験結果 ..... 6
- 後援会定期総会決算書・予算書 ..... 7
- 交流センター公開講座、認証評価 ..... 8

## ごあいさつ

平成23年度  
新潟県立看護大学後援会

## 会長 荏草 政秋



本年度後援会会長を仰せつかりました荏草です。甚だ微力ではありますが、役員・後援会会員皆様方のご協力を得ながら努力していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

今年度も、入学式終了後に行われました総会において、平成22年度事業報告及び決算報告、平成23年度の事業計画と予算案も原案通り承認されました。その後更に新年度の役員が選出されこちらも問題なく承認されました。本当にありがとうございました。

今年度は、通年の行事の他に大きなイベントがありました。それは、県立看護大学創立10周年を迎えたことです。私も後援会会長を仰せつかった直後に記念式典に出席させていただきました。

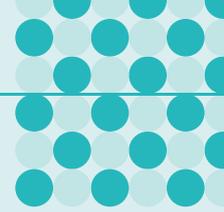
平成14年4月に開学、現在迄に優秀な人材を多数搬出しています。まさにすばらしいことと私自身感銘しました。

学生の皆さんが目指す看護職には、保健師・助産師・看護師の3つの職種があります。高度化・専門化・複雑化しつつある日本の医療・保健の中で、それぞれに求められる機能・能力は異なっています。患者さんたちの多様なニーズに応える看護を的確に提供できる判断力と実践力を備えた看護師を、この4年間の学部教育の中でしっかり養成していただくことが大きな目標と考えています。

平成23年度も、学生の皆さんが有意義な学生生活を送ることが出来ます様、後援会活動にご理解ご協力の程、お願い申し上げまして挨拶とさせていただきます。



(会 長)	荏草 政秋 様	(新潟県上越市)
(理 事)	梶澤 光子 様	(新潟県魚沼市)
(理 事)	澤田 豊 様	(新潟県上越市)
(理 事)	谷 美和子 様	(新潟県新潟市)
(理 事)	渡辺 秋美津 様	(新潟県長岡市)
(理 事)	植木 竹幸 様	(新潟県上越市)
(理 事)	田村 功 様	(新潟県南魚沼市)
(理 事)	水沼 敏明 様	(新潟県糸魚川市)
(理 事)	八木 日出世 様	(新潟県妙高市)
(理 事)	江口 眞由美 様	(新潟県柏崎市)
(理 事)	小暮 ひろ子 様	(新潟県上越市)
(理 事)	小林 一江 様	(新潟県上越市)
(理 事)	高橋 浩一 様	(新潟県十日町市)
(理 事)	横田 尚之 様	(新潟県上越市)
(監 事)	鈴木 暁美 様	(新潟県妙高市)
(監 事)	渡邊 俊治 様	(新潟県上越市)



## 10周年を迎えて

新潟県立看護大学



### 学長 渡邊 隆

私たちの大学は、今年で10周年を迎え、5月12日に式典を挙行了いたしました。後援会の皆様から厚いご支援をいただきまことにありがとうございました。

大学は、県立看護短大から出発し、四年制になってからの10年間は、着実な進歩をとげてまいりました。学部生94名で出発し、平成17年には、大学院修士課程が認可され、さらに専門看護師課程（CNS）が地域とガン看護の二領域で認可されました。そしてこれまで、学部生は561名、修士は21名、とCNSは6名の逸材を社会に送り出しました。

また、看護研究交流センターは、私たちの大学の教育・研究成果を地域社会へ公開し、地域の皆様と本大学の存在をしっかりと認識していただき、また、同時にご批判をいただく役目を担って、運営しております。

毎年、地域の皆様に公開している企画は多数あります。地域の看護職者向けの講座や、一般市民の皆様が気軽に夕方訪れ、健康・福祉の話題を聴きながら、自らの生活を考えるきっかけにしてほしい「いきいきサロン」（年8回）を用意しています。とくにこのサロンは、街のお医者さんや大学のスタッフが登場し、約30～40分の健康・福祉にかかわるお話をさせていただき、そしてそのあと、市民の皆様と対話をさせていただくというものです。今年ですでに13回を数え、のべ人数で1,000名の方たちが参加しておられます。中には、このサロンではじめて大学を知ったという人から何回も参加して下さっているリピーターの人たちも増えています。そんな活動をしながらの10周年の特別講演に、芥川賞作家玄侑宗久氏を迎えました。玄侑氏は、福島県三春町の福聚寺の住職で、地元の被災者の支援に奔走するとともに、現在、政府の震災復興会議のメンバーで活躍中です。演題は、「たまきはる命」でした。「たまきはる」は、「命」にかかる枕詞だそうで、玄侑氏は「命」の大切さを多方面からとらえ、その尊さを堂々と語りつくしてくれました。そしてその中で、私たちの関与する「看護」ということばの意味をくっきりと明確に私たちに伝えて下さいました。これを聴かれた学生、教職員も同じ感動をいただいたことでしょう。

これからまた次の10年に向け、大学は、元気にスタートします。どうか皆様のあたたかいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## 開学10周年記念式典・記念講演会が盛大に行われました。

「看護の日」の5月12日、上越市内のデュオ・セレッソで、地元選出の国会議員、県議、行政、医療関係者や、本学の教員、学生ら約150人が出席して節目を祝いました。

式典では、渡邊隆学長が「東日本大震災が起ころ、災害時における看護の新しいあり方を突きつけられている」ことや「この10年の発展を支えた諸先輩方に感謝すると共に、将来に向けた看護の専門家育成と地域貢献への新たな出発としたい」との決意を述べられました。

式典に続いて行われた記念講演会では、東日本大震災で被災した福島県の福聚寺住職で芥川賞作家の玄侑宗久氏をお招きし「たまきはる命」と題して命をテーマとした講演を行っていただきました。



## 継燈式



### 継燈式を終えて

継燈式実行委員長 古山 眞伊

私達九期生の継燈式は、先輩方からの思いが詰まった火をしっかりと受け継ぎ、無事に終わることができました。照明を落としたホールに輝く灯火の美しさと、仲間達と共に誓った言葉は、一生忘れることができない思い出の一つとなりました。この式は、看護師としての第一歩を踏み出すための式だと私は思います。これから先、実際に医療の現場に入って、不安になることも沢山あるでしょう。そんな時、この式を、仲間との誓いを思い出して、勇気をもらえたらと思います。

また、今回無事に式を終えられたのは、沢山の方々の協力のおかげです。実行委員だけでなく、先生方や一年生のボランティアの皆さんなど、多くの協力があったからこそとてもよい式にすることができました。1人では出来ないことも、皆で協力すれば出来ることが沢山あります。私は、仲間やチームの大切さを、あらためて学ぶことができました。皆さん本当にありがとうございました。

さて、私達もこれからついに実習を迎えます。練習ではなく、実際に患者さんに接するということで、不安な気持ちになることもあります。しかし、その分初めて、自分達が患者さんに何かすることができるとい喜びもあります。この気持ちを大切に、これからこの仲間たちと共に、一歩ずつ夢に向かって前に進んでいけるよう、努力していきたいと思います。

継燈式実行委員 / 水上 雄太 今泉 綾 吉樂 恵  
小池 由麻 伏見 唯 保科 梓

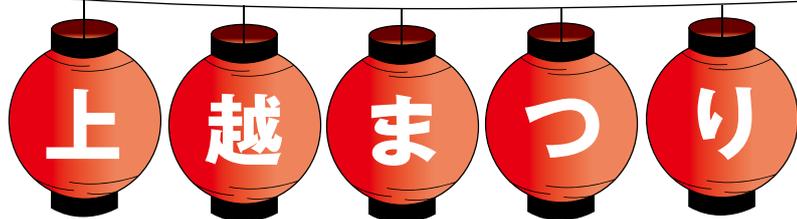
## 新入生学外オリエンテーション

平成23年度新入生学外オリエンテーションは、4月15日(金)、長野県黒姫高原のホテルにて一泊二日で行われました。参加者は、新入生96名に学長以下教職員が17名、計113名でした。一日目のホテル到着後は、残雪の高原散策、卓球、おしゃべり、等で過ごしました。夕食後は、広間にてグループごとに自己紹介し合い、その後も夜遅くまで気の合ったもの同士、楽しそうに語り合っていました。二日目の午前にはグループ対抗クイズを楽しみ、笑い声とともに豪華(?)賞品を獲得して大学に戻りました。わずかな時間でしたが寝食を共にすることによって、これから一緒に大学生活を送ることになる仲間の素顔に触れ、互いに親睦を深めることができたことと思います。(学生委員長、関谷伸一)



## 球技大会

4月23日(土) 新入生を歓迎するため、学生自治会主催の球技大会が開催されました。今年の1年生参加者数は例年より多く、先輩たちとドッジボールで交流を深めました。



7月25日(月) 上越市の夏の風物詩「上越まつり大民謡流し」に新潟県立看護大学として7回目の参加をしました。多くの上越市民、企業参加者の中、「看護大学」のプラカードを先頭に62名の学生、教職員が参加し、若さと情熱でまつりを盛り上げました。



# 国家試験結果!!

# 目指せ合格!!

平成22年度に行われた国家試験の合格状況は下記のとおりでした(表1)。本学はすべての受験職種において全国合格率を上回ることができました。今年度もすでに次回国家試験に向けての模擬試験や対策講義を計画し、受験体制に入っております(表2,3)。

また、昨年度受験した先輩からのアドバイスもいただきましたので、ぜひ参考にしてください。次回国家試験に全員合格できるよう、教職員一同全力で応援していきます。

(表1)平成22年度 国家試験合格状況(新卒者のみ)

	受験者	合格者	合格率	全国合格率
看護師	87名	86名	98.9%	96.4%
保健師	92名	85名	92.4%	89.7%
助産師	3名	3名	100%	98.2%

(表2)平成23年度 国家試験模擬試験予定

4月8日	看護師低学年模試
7月12日	看護師必修問題模試
9月6日	第1回看護師模試
10月21日	第2回看護師模試
11月1日	第1回保健師模試
11月11日	第2回保健師模試
1月11日	第3回保健師模試
1月13日	第3回看護師模試

(表3)平成23年度 国家試験対策講義予定

月日	科目名	担当者	月日	科目名	担当者
4月28日	国試ガイダンス	酒井准教授	9月28日	成人看護学①	高柳准教授
7月13日	人体の構造と機能	関谷教授	10月5日	成人看護学②	酒井准教授
7月13日	必修科目	酒井准教授	10月12日	精神看護学	粟生田教授・櫻井助教
7月20日	疾病の成り立ちと回復の促進①	中野教授	10月19日	老年看護学	原准教授
7月20日	疾病の成り立ちと回復の促進②	中野教授	10月26日	母性看護学	加城教授
9月7日	社会保障制度と生活者の健康	渡辺講師	11月9日	小児看護学	大久保講師
9月14日	基礎看護学	岡村講師	11月16日	地域看護学	平澤教授・井上助教
9月14日	保健師国試ガイダンス*	藤川講師	11月30日	保健統計**	橋本教授
9月21日	在宅看護論	片平講師	12月7日	疫学**	藤川講師

\*:今年度新設 \*\* :講義時間数の増加

## 先輩からのアドバイス~私はこうして合格しました~



学生にとって勉強が本業なのはもちろんなのですが、勉強にお金をかけたくない…遊びたい…というのが本音だと思います。私もその様な考えの持ち主でした。参考になるかわかりませんが私の看護師国家試験の勉強法を紹介したいと思います。

まずお金をかけたくないで教材は2つにしぼりました。私の場合レビューブックという参考書1冊と過去問(5年間分)1冊を使用しました。教材はこれで本当に十分だと思います。そして知識を深めたい時は図書館を利用しました。何といても図書館はタダですからね。「なぜ?どうして?」シリーズは読みやすいのでオススメです。さらにお金をかけなければ過去問を先輩方から頂いちゃうという手もありかと思えます。

もう1つは模試を十二分にいかそうと努力しました。私は大抵の人が模試直後に自己採点で終わりのところを、もう1度解き直したり解説を切り取ってレビューブックに貼ったり書き込んだりしていくことをひたすらやっていました。1回の模試だけでも2~3000円はするので貴重です。

また私は春先から必修問題を始めて、時間もできてきた夏休みから一般問題や状況設定問題に挑戦していきました。過去問は1日5~10問くらいを目安に、解けなかった問題にチェックを、何度やってもわからない問題と解説すら理解できない問題には×印を付けました。こうする事で苦手がバツと見てわかるようになります。「1度解いたことのある問題は完璧に」という意気込みでわかる問題はサラッと、苦手問題は1問ずつ丁寧に解いていくようにしました。過去問は分厚くて手をつけるまでに勇気がいります。しかし基本の必修問題からでも問題を少しずつこなしてゆくと面白さが出てくることもあります。ふと教材を見るとポロポロに汚くなっているのです。それを友達と競っていました。皆さんも勉強して参考書などをポロポロにしちゃって下さい(笑)。

それから息抜きや原動力となるものを持つことも大切かと思えます。私が春から勉強できたのは冬休みもボードやアルバイトをしたという理由からでした。バイトの空き時間にコッソリ参考書を見ていたりもししていました(笑)

また4年生は実習や卒論やら就活やらとプレッシャーがかかる場面が多いです。私は心が折れそうな時、友達に支えられ、先生、家族に思いっきり甘えていました。実家に帰って美味しい物を食べたり、友達とおしゃべりすることが私にとっての一番の息抜きでした。

最後に、体調を万全に試験会場まで確実にたどり着いて下さい。

看護師の皆さんが国試合格することを祈ってます。頑張れー(・∀・)ノ

看護師 真貝 早悠里



勉強方法としては、あまり多くの問題集に手を付けず、2冊ほど主流の問題集を解くことを進めて行きました。私は6月の就職試験の際に試験問題対策として、国家試験問題集を何回も解き、答えを覚えてしまっていたので、もう1冊別の問題集を図書館で貸り、解けるところまで進めていきました。実際に現場で経験しなければ分からないような問題もいくつか見られますが、そこはその都度学習していくという感じでした。

また、看護師と保健師の勉強をどのくらいの配分で進めていくかということに迷いました。私は、看護師の問題集の方が非常に厚く、授業で習ったことも忘れてしまっていたので看護師の勉強を中心に先行い保健師国家試験の勉強を本格的に行いはじめたのは12月の下旬でした。保健師国家試験の内容は制度や法律に関するものが多いので、その仕組みを理解することや、各職種の担う役割等を一つ一つ理解しながら勉強を進めていくとよいと思います。

将来の自分の夢に向けて頑張ってください。

保健師 関口 香奈

## 後援会定期総会 4月7日(木)

平成23年度後援会定期総会が、例年のとおり入学式終了後本学ホールにおいて開催されました。  
下記のとおり平成22年度決算並びに平成23年度予算について審議され承認されました。

## 平成22年度後援会決算書

歳入の部

(単位:円)

	本年度予算額(A)	収入総額(B)	差引(B-A)	備 考
会 費	4,440,000	4,755,880	315,880	平成22年度在学生の納入会費(過年度未納者納入分含む)
繰 越 金	6,420,855	6,420,855	0	昨年度からの繰り越し
寄 付 金	0	8,308	8,308	他口座利息受け入れ(「社会人の学び直しニース教育推進事業委託」に係る預金口座の利息)
雑 入	3,145	1,766	-1,379	平成22年度預金利息
合 計	10,864,000	11,186,809	322,809	

歳出の部

	本年度予算額(A)	総支出額(B)	差引(B-A)	備 考
総 務 費	1,100,000	726,478	-373,522	
会 議 費	100,000	18,458	-81,542	役員会旅費 はがき代等
( 総 会 費 )		14,628		後援会総会役員旅費 はがき代等
( 役 員 会 費 )		3,830		監査役員旅費 はがき代等
事 務 費	400,000	309,700	-90,300	除雪機リース代 231,420 生花代 35,000 非常勤講師昼食代等
広 報 費	600,000	398,320	-201,680	後援会だより印刷・送料
事 業 費	4,300,000	3,448,349	-851,651	
学生自主活動推進費	1,350,000	1,067,675	-282,325	
( 大 学 祭 ・ 継 燈 式 )		478,867		桜蓮祭 400,000 継燈式 78,867
( 自 治 会 活 動 費 補 助 )		588,808		自治会 500,000 上越まつりバス代 75,420 球技大会 13,388
学生教育振興費	1,950,000	1,578,162	-371,838	
( 実 習 経 費 補 助 )		1,578,162		実習衣購入(2年生)1,139,280 実習高速道路料金補助78,650 抗体価検査 339,340 実習懇談会購入物品 3,892 成績優秀賞記念品・額縁 17,000
学生福祉増進費	1,000,000	802,512	-197,488	
( 食 堂 運 営 補 助 )		802,512		食堂光熱費 自動販売機電気代
( 学 外 科 イン テ ー シ ョ ン 経 費 助 成 )		0		
予 備 費	5,464,000	859,920	-4,604,080	実習衣購入(1年生) 859,920
特 別 会 計 繰 出 金	0	0	0	学生会館建設基金
合 計	10,864,000	5,034,747	-5,829,253	

H22年度収入総額	11,186,809	-	H22年度支出総額	5,034,747	=	H22年度繰越額	6,152,062
-----------	------------	---	-----------	-----------	---	----------	-----------

## 平成23年度後援会予算書

歳入の部

(単位:円)

	前年度予算額(A)	本年度予算額(B)	増減額(B-A)	備 考
会 費	4,440,000	4,512,000	72,000	48,000×1年生91人 24,000×3年次編入生6人
繰 越 金	6,420,855	6,152,062	-268,793	
寄 付 金	0	0	0	
雑 入	3,145	1,766	-1,379	預金利子
合 計	10,864,000	10,665,828	-198,172	

歳出の部

	前年度予算額(A)	本年度予算額(B)	増減額(B-A)	備 考
総 務 費	1,100,000	1,100,000	0	
会 議 費	100,000	100,000	0	役員旅費等
事 務 費	400,000	400,000	0	除雪機リース代 300,000 生花代 50,000 非常勤講師昼食代等 50,000
広 報 費	600,000	600,000	0	後援会だより印刷・送料
事 業 費	4,300,000	5,050,000	750,000	
学生自主活動推進費	1,350,000	1,350,000	0	自治会 600,000 桜蓮祭 500,000 継燈式 100,000 上越まつりバス代 100,000 球技大会 50,000
学生教育振興費	1,950,000	1,950,000	0	実習衣購入 1,400,000 成績優秀賞記念品 50,000 新入生学外科インテェション 100,000 抗体価検査 400,000
学生福祉増進費	1,000,000	1,000,000	0	食堂光熱費 700,000 自動販売機電気代 300,000
開学10周年記念事業補助費	0	750,000	750,000	
予 備 費	5,464,000	4,515,828	-948,172	
特 別 会 計 繰 出 金	0	0	0	
合 計	10,864,000	10,665,828	-198,172	

## 平成22年度特別会計[学生会館建設基金]決算書

歳入の部

(単位:円)

	本年度予算額(A)	収入総額(B)	差引(B-A)	備 考
繰 越 金	1,000,000	1,000,000	0	定額貯金のため、 解約時に利子額 が確定する
合 計	1,000,000	1,000,000	0	

H22年度収入総額	1,000,000	-	H22年度支出総額	0	=	H22年度繰越額	1,000,000
-----------	-----------	---	-----------	---	---	----------	-----------

## 平成23年度特別会計[学生会館建設基金]予算書

歳入の部

(単位:円)

	前年度予算額(A)	本年度予算額(B)	増減額(B-A)	備 考
繰 越 金	1,000,000	1,000,000	0	定額貯金のため、 解約時に利子額 が確定する
合 計	1,000,000	1,000,000	0	

## 平成23年度

## 看護研究交流センター 公開講座一覧(受講料無料)

新潟県立看護大学内にある看護研究交流センターでは、下記の講座を実施予定です。受講料は無料で、どなたでも参加できますので、みなさまふるってご参加ください。会場は全て新潟県立看護大学となります。

日時	講座名	講師	事業名	申込定員	事前申込
8月24日(水) 18:30~19:30	「入院するとボケるって本当？」 ～高齢者せん妄の発症予防と混乱への対応～	新潟県立看護大学 教授 粟生田友子	いきいきサロン	なし	不要
9月13日(火) 10:00~16:10 9月14日(水) 10:00~15:30	看護情報処理セミナー (基本操作、統計処理等)	新潟県立看護大学 教授 橋本明浩 新潟県立看護大学 助教 永吉雅人	どこでもカレッジ	100名	必要 (下記申込先へ)
9月17日(土) 13:00~15:00	高齢者のエンド・オブ・ライフケア	青梅慶友病院 看護介護開発室長 桑田美代子	どこでもカレッジ	100名	必要 (下記申込先へ)
9月20日(火) 10:00~16:10 9月21日(水) 10:00~15:30	院内研究発表入門 — 研究発表を効果的に行うために —	新潟県立看護大学 教授 橋本明浩 新潟県立看護大学 助教 永吉雅人	どこでもカレッジ	100名	必要 (下記申込先へ)
9月28日(水) 18:00~19:00	「更年期みんなで渡れば幸年期」 ～自分らしく、しあわせに生きるためのヒント～	新潟県立看護大学 講師 高島葉子	いきいきサロン	なし	不要
10月1日(土) 10:00~15:30	フィジカルアセスメント講義・演習 (呼吸器/循環器)	新潟県立看護大学 看護・医系教員	どこでもカレッジ	100名	必要 (下記申込先へ)
10月18日(火) 18:00~19:00	「獣医師から見た人と動物の共通感染症」	西脇小動物病院 院長 西脇薫	いきいきサロン	なし	不要
10月29日(土) 10:00~15:30	フィジカルアセスメント講義・演習 (消化器/運動器)	新潟県立看護大学 看護・医系教員	どこでもカレッジ	100名	必要 (下記申込先へ)
11月16日(水) 18:00~19:00	「脳卒中にならないために」	土田脳外科医院 院長 土田正	いきいきサロン	なし	不要
11月20日(日) 10:30~12:00	人を勇気づけ安らぎを与えるコミュニケーションとは — 医療現場における研究成果から —	テキサス大学サンアントニオ校 教授 サンドラ・サンチェス	上教大・看護大 連携公開講座	100名	必要 (下記申込先へ)
12月7日(水) 18:00~19:00	「家族のための介護入門」 ～せつなくならないための少しのテクニク～	新潟県立看護大学 講師 片平伸子	いきいきサロン	なし	不要

※公開講座は随時さまざまな企画が追加されています。大学ホームページ、広報誌などで随時公開しています。

【申込先】新潟県立看護大学 看護研究交流センター(新潟県立看護大学内) TEL&FAX 025-526-2822  
E-mail kyoumu@niigata-cn.ac.jp 〒943-0147 新潟県上越市新南町240番地

## 「大学機関別認証評価」を受けました。

大学は、教育研究等の状況について、一定期間ごとに文部科学大臣から認証を受けた評価機関による評価(認証評価)を受けることが義務づけられています。

まず、本学で教育研究活動等について自己評価を行い、それをもとに評価機関が一定のレベルを満たしているか否かを第三者の観点で評価し、更により良い大学への改善に役立てていくことを目的とするものです。

本学は、「独立行政法人 大学評価・学位授与機構」から開学以来初めての評価を受けることとし、昨年10月には訪問調査を受ける等、概ね1年かけて実施してきました。評価結果は、本学ホームページに掲載しています。是非、ご覧ください。

新潟県立看護大学ホームページ <http://www.niigata-cn.ac.jp>

